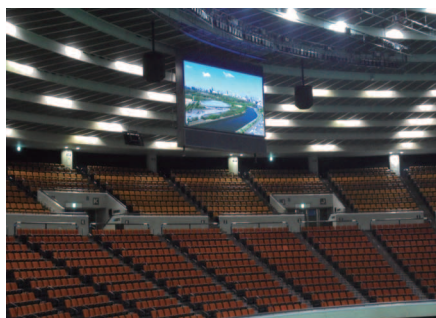


大阪城ホール内のLEDビジョン改修完了 2016年3月に運用スタート。



大阪城ホール内西面に設置されたLEDビジョン。

コントロール室(遠隔)と ビジョン側の2カ所で制御可能

大阪城ホール(大阪市中心部)では、ホール内西面の既設LEDビジョンの老朽化に伴いビジョンを改修、2016年3月12日より運用を開始した。

今回設置されたLEDビジョンは、8mmピッチの3in1タイプ(LEDは日亜化学社製)で、サイズは278インチ(W6,144mm×H3,456mm、輝度:3,000cd/m²以上)。『ビジョンの制御をコントロール室(遠隔)とビジョン側の2カ所で行えるように』という大阪城ホールの要望から、新たにコン



LEDビジョンのサイズは278インチ(W6,144mm×H3,456mm)で、輝度は3,000cd/m²以上。陸上などの競技における使用ではPCからの順位や成績といった競技情報を表示し、卒業式や入学式などのイベント時にはカメラからの場内映像を表示する。

トローラーを開発し、システムを構築している。

放映コンテンツについては、陸上などの競技における使用では、PCからの順位や

成績といった競技情報を表示。卒業式や入学式などのイベント時には、カメラからの場内映像を表示する。

今回の製品納入に際し、LEDビジョンの販売を行ったソニービジネスソリューション(株)は、次のように話す。

『2ヵ月という非常に短い工期の中で、お客様が求めるビジョン仕様や運用方法に対応できること、また、機器に安定感があることが採用の条件でした』。

なお、今後は保守契約を締結し、年1回の点検を実施する予定だという。

■ 販売

ソニービジネスソリューション(株)

■ 製品提供

セキシン電機(株)

